

5/28(土) まいど! 倫理号です。さわやかな、季節ですネ〜  
私も圣贤の「倫理指導」の力、スゴイです。全てが繋が

てみんなが  
幸せになるアホ-鳥

2022. 5. 28~6. 3

今週の

倫理

5月のテーマ | 信念を持つ

1283号

『万人幸福の契』には「事をなすの根本の力は信念である」(第十五条、信成万事)と述べられています。ここでいう「信念」とは、実践と体験による裏付けがあつて初めて理解できます。

E社長は、パートで働く妻と、小学生の長男と暮らしていました。長男は妻の言うことをまったく聞かず、妻が何か言おうものなら暴言を吐く、物を投げるといった様子で、困り果てていました。長男をどのように諭したらよいかと思案していたE社長は、倫理指導を受けることにしました。すると、「毎日三十分、お茶でも飲みながら夫婦で向かい合つて、会話をしてください」とアドバイスされたのです。

「子供の話を話しているのになぜ？」と疑問に思つたE社長でしたが、実践することになりました。半信半疑ながらもアドバイスを継続すると、妻も仕事と家事で疲れているという、当たり前のことにE社長は気がつきました。

洗濯機を回して止まった後に干さずに寝る、皿は洗わず放置する——ということがE家では度々あり、その都度、E社長は妻に文句を言っていました。

ある日、洗濯機の中を見ると、洗濯物が入ったままでした。文句を言おうと思つて妻を探すと、疲れていたのか寝ていました。「妻も仕事の後に家事をすることで疲れているんだ」と気づいたE社長は、初めて自ら洗濯物を干しました。翌朝、顔を合わせた妻から開口一番、「洗濯物、干してくれ

## 自らが実践し体験することで 正しく信念を練り上げていく



てありがとう」と言われました。妻の表情は、どんなプレゼントをもらった時よりも最高の笑顔でした。その後のE社長は、「家庭内で自分ができることはないか」と探して取り組みました。妻との会話も徐々に増えていきました。

夫婦仲は以前にも増して和やかになり、それに伴い、長男の妻に対する暴言が自然となくなりました。

E社長は妻に対しての実践に取り組むことによつて、叱らなくとも、我が子が変わるということを感じ、今度は自分の両親への実践にも取り組みました。その結果、両親との関係性も改善して、純粹倫理への信念をさらに強くしたのでした。

自分が変わればほんとうに相手も変わってくるだろうか。そううまくいくだろうか……と、不安に思つていても、実際にやってみて、わが子が、配偶者が、その通りに変わって来ると、なるほどと思う。信念がついてくる。やらなければ信念はつきやうがない。

『つねに活路あり』丸山竹秋著  
始めた時には半信半疑でも、実践するうちにわかつてくるのが多々あるものですね。見てわかった、聞いてわかったということも、自分が実践し、体験するからこそ、「間違いない! 確かにそうだ!」という信念が培われてくるのです。

実践と体験を積み重ねて、「実行によつて直ちに正しさが証明できる純粹倫理」への信念を正しく練り上げていきたいものです。

五月第一句「目に見えぬ敵味方は心次第」  
薄くなるソマシク。